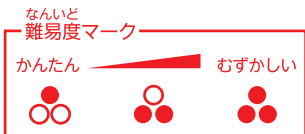
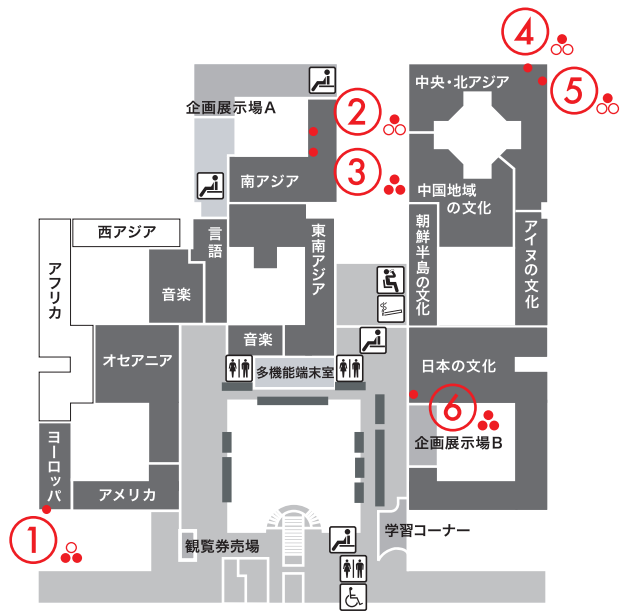
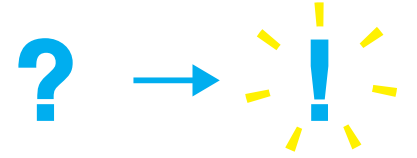


どんなものがあるかな？



このワークシートでは、考える力や観察する力を大切に
 していただけるような、問いかけをしています。
 自分なりの自由な発想で考え観察してみましょう。
 解説シートもご用意しています！
 スタッフに声をかけてね！



フタを開けてみるもの

① これはウシの足のひづめにつける蹄鉄。
何のためにつけるのかな。



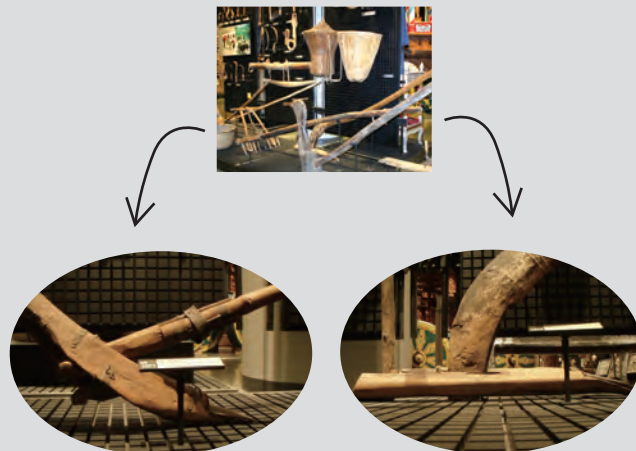
よう
ウシ用蹄鉄(ていてつ) フランス YO 0041

② ふしぎな絵や文字がいっぱい。
ウシもいるよ。



天球儀(てんきゅうぎ) インド MI 0904

③ 雨が^{あめ}多い地域と雨が^{すく}少ない地域では
どんな形の^{かたち}ちがいがあるんだろう。



犁(すぎ) インド MI 1071 / パキスタン MI 1070

④ あたたかそうな^{なが}長ぐつ。
こんなのをはく所はどれくらい^{さむ}寒いんだ?



だんせいようながぐつ
男性用長靴 ウズベク 中央アジア TK 0048

⑤ よーく^み見ると、
仮面^{かめん}ってふしぎな顔^{かお}をしてるよね。



きれいようかめん
儀礼用仮面 モンゴル TK 0609

⑥ こわい顔で悪いものを追ひ^お払う牛鬼^{うしおに}。
似ている役目^{やくめ}をしているのはどれかな?



牛鬼(うしおに) にほん えひめけん
日本(愛媛県) HI 1049

みんなぱくワークシート「ウシにまつわるもの」解説シート

1. 「ウシ用蹄鉄」 フランス YO 0041
蹄鉄とは、もともとウマの足のひづめの底につけて、ひづめがすりへりたり、傷ついたり、滑ったりするのを防ぐための鉄の道具。これは、ウシのひづめに付ける蹄鉄だよ。
2. 「天球儀」 インド MI 0904
下にあるふたつの球が天球儀で、星座や赤道などが描かれていているんだよ。上の円盤は星うらないを描くためのもので、まんなかの絵は月や太陽。
インドでは昔から惑星や星座の動き方の知識がたくさんあったんだ。今も、結婚などのときにこよみや星うらないが大切にされているよ。
3. 「犁」 パキスタン MI 1070/インド MI 1071
南アジアは、ウシ、スイギュウ、ラクダなどの大きな家畜に犁をひかせて田んぼや畑を耕すのがすすんだ地域。インドの雨の多い地域では、地面に接する部分がすごく短い犁を使うんだ。でも、インド北西部やパキスタンの乾燥した地域では、地面に接する部分が長い犁を使って浅く耕し、地面から水分が蒸発するのを防いでいるんだよ。
4. 「男性用長靴」 ウズベク 中央アジア TK 0048
ウズベク人が住む国のひとつ、ウズベキスタンは中央アジアにある国。アラル海に近いけど、すごく乾いた土地が多いから、フルーツなどがそだつ地域は10%くらいしかないんだよ。あとは岩とかれた川の谷。
首都のタシケントが一番寒くなる1月の平均最低気温は-1℃。1993年2月にはウズベキスタンの北の方で-35℃まで下がったんだって！

5. 「儀礼用仮面（ツァム）の面」 モンゴル TK 0609

チベット仏教のお寺のあまりの踊りはチベット語でチャム（モンゴル語ではツァム）っていうんだ。ここでは、鬼の面、けもの面、神仏面などが使われるんだよ。神仏面は、つりあがった眉の下に大きな目をひらいたおそろしい顔つきで、みんなを脅かすんだって。いいことを運んでくれるのは、白髪の面をつけておじいさんの役。

6. 「牛鬼」と「やごろごどん人形」 日本 HI 1049/HI 1077

愛媛県の南の方の祭りに、きまって牛鬼と呼ばれる怪獣が出てくるよ。子ども用から、大人50人がかづく大きなものまでいろいろ。この怪獣の力をかりて、悪いものを追い払おうとしたんだ。



鹿児島県の岩川八幡宮のお祭りにでてくるやごろごどんは、子どもたちにひかれて町中をめぐるんだって。町の人たちは、そのこわい姿の大きな人形に、悪い病気を追い払ってもらうように願ったんだよ。